

新発田市 令和7年度 第4回定例記者会見

1 日 時 令和7年6月27日(金)午前11時～

2 場 所 ヨリネスしばた501会議室

3 内 容

【市長発表項目】

経済対策

○新発田版物価高騰対応重点支援パッケージ

一般事項

○海老名市小学生が「SHIBATA 版スタディー・ツーリズム」で体験します！

○小・中学校向けツキノワグマ出前授業

○夏季企画展「北を向く越後人」

【その他】

○知れば知るほどおもしろい！図鑑制作のスペシャリストが
進化のふしぎを語ります！

○「ねこ展 in 蔵春閣」「ねこフェス in 文化会館」を開催します

○新発田食探訪「あやめ城下町・おごつつおう祭り」開催

○第45回日韓親善スポーツ交流会

○みんなで行こうよ！サマフェス2025 夏の一大事！

○藤塚浜海水浴場海開き及び安全祈願祭

○落谷虹児記念館企画展

「久保修 切り絵の世界展～紙のジャポニズム～」

○合唱のつどい

○健康づくりの「絵と標語」大募集

あいさつ

- 趣味で、少し前に関川村の大石ダムにキャンプへ行ってきました。平日だったこともあり、あの広大な場所で一人きりでした。静寂や暗闇はこういうものだとはじめて知り、暗闇の中に身を投じることたまにはいいものだと感じました。
- もう一つの趣味として日本舞踊を踊っています。議員時代から敬老会の方などで喜んでもらいたいとの思いがあり、練習を重ねています。
- 私の流派は若泉流です。若泉流は全国や海外に支部があり、その支部の中には台湾もあります。台湾の女性には日本舞踊がブームとのことで、毎年、東京の国立演芸場で踊りを披露し、その後、華鳳にお越しいただき練習をしてから帰国しています。
- この台湾のご一行とお会いするため、私はこの記者会見終了後に、華鳳に駆けつけることとしています。記者の皆様で時間がある方は、ぜひ取材をしていただけるとありがたいと思っています。

それでは、会見項目を説明いたします。

はじめに、新発田版物価高騰対応重点支援パッケージについてです。

○これは、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対し、地方公共団体が地域の実情に合わせて必要な支援をきめ細やかに実施できるよう、国が予備費を活用し、重点支援地方交付金を追加したものであります。

○交付金の性質上、迅速な予算化が必要であったことから、昨日の市議会最終日に補正予算の採決をいただき、当市において物価高騰への対応が真に必要な事業を実施してまいります。

○では、個別の事業を御説明いたします。

はじめに、「小・中学校、保育園等の給食食材高騰対策」です。

- 今年度、当市では、精米をはじめとする物価高騰に伴い、令和6年度に引き続き、給食単価の値上げ改定を行ったところではありますが、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、値上げ改定分について、公費による支援を既に実施しております。
- しかしながら、値上げ改定後も給食用の精米価格が上昇していることに加え、物価高騰による給食食材費の値上がりが続いており、現在の給食費で質・量を維持しつつ給食を提供することは、非常に難しい状況であります。
- このことから、再度の値上げ改定を検討せざるを得ない状況でしたが、子育て世帯の経済的負担の軽減措置として、精米や牛乳など、提供頻度の高い食材に係る値上がり相当分の支援を実施いたします。
- 「子育てするならやっぱり新発田」の旗印のもと、子ども達へ栄養バランスのよい給食を提供することで、子ども達の食育や健康促進に寄与し、保護者の皆様に安心していただける教育環境、保育環境を提供してまいります。

次に、「商業関連」です。

- 市民の皆様や飲食事業者等に対する消費喚起策として、一年で一番消費が落ち込む2月の経済停滞期を狙い、「今・得キャンペーン飲食プラン」を実施します。
- 今回の飲食プランは、対象期間を令和8年2月1日から2月28日までとし、店内飲食4,000円以上のプラン利用で1,000円の割引をいたします。
- 利用対象者は新発田市・胎内市・聖籠町在住者または新発田市に在勤、在学している方に限らせていただきます。
- また、今回も新発田産の食材を御使用いただくことを参加店舗の条件として、利用者、飲食店、生産者の皆様を幅広く支援することを目的としています。
- 今・得キャンペーンの「飲食プラン」をぜひ利用いただき、利用者、飲食店、生産者など、サプライチェーン全体への長期的な経済波及効果に結びつけてまいりたいと考えております。

次に、「観光関連」です。

○月岡温泉の華である「月岡芸妓」を広告塔として、多くの皆さんに月岡温泉、そして、市内の割烹にお越しいただけるよう、今・得キャンペーン「月岡芸妓プラン」を今年度中に 2 回に分けて実施いたします。

○『月岡芸妓プラン』の、1 回目は、新発田牛を使った料理を堪能できる 3,000 円宿泊割引『今・得キャンペーン宿泊プラン』の実施期間に合わせて実施し、どうしても敷居を高く感じてしまう『月岡芸妓』の魅力を多くの方に感じていただけるよう、芸妓 1 名あたり 2 時間 2 万円以上かかる手配料金から、芸妓 1 名あたり手配料金 1 万円を定額助成いたします。

○2 回目は、宿泊及び外食の需要が落ちる 2 月から 3 月を目安に、芸妓 1 名あたり 1 手配 5,000 円を定額助成する予定としております。

○この機会に、是非とも月岡温泉、そして新発田の市街地に足を伸ばし、新発田の観光を満喫していただければと存じます。

○また、この他にも、当市が押し進めるインバウンド客への宿泊補助も実施し、月岡温泉や市内旅館・ホテルの需要を継続させることで、宿泊業におけるサプライチェーンを支え、地域経済や観光需要の活性化を図ってまいります。

パッケージの最後は、「農業関連」です。

- 当市の基幹産業である農業におきましても、肥料や飼料、光熱動力費などの高騰が続いており、農家の皆様も大変苦勞されているところであります。
- そのような中、令和7年1月市議会臨時会において御承認いただいた、「燃油価格高騰対策緊急支援事業」により、肥料等の農業用資材の高騰が著しい水稻農家を対象に、今後の経営継続に重点をおいた、物価高騰に伴う、かかり増しに対する経費の支援として、非主食用米（加工用米、輸出用米）の作付けに対する支援を行っております。
- 米価高騰の影響もあり、主食用米の作付けが増加し、非主食用米の不足も懸念されましたが、本事業により、想定を大きく上回る加工用米と輸出用米への作付誘導につなげることができました。
- しかしながら、1月臨時会で御承認いただいた事業における想定面積を大きく上回ったことから、当初見込みの令和7年産における加工用米及び輸出用米の作付面積900ha(9,016万4千円)を超過した分の、176.95ha(1,769万5千円)の支援を、この度の追加予算により行うものであります。
- 主食用米の不足による米価高騰が続く中、一方では、加工用米などの非主食用米も不足している現状であります。この支援により、需給調整はもとより、加工用米、輸出用米の生産量確保による食品加工業者等への貢献、米価の維持・安定化を図るとともに、持続可能な農業を確立してまいりたいと考えているところであります。

続いて一般事項に移ります。はじめに、海老名市の小学生による「SHIBATA 版スタディー・ツーリズム」体験についてです。

- 鎌倉時代の武将「佐々木三郎盛綱」の縁^{ゆかり}から神奈川県海老名市と当市とは、令和3年11月に「災害時における相互応援に関する協定」を締結し、令和4年度からは、新発田の美味しいお米コンテスト上位入賞者のお米を海老名市の学校給食用に提供するなど、親睦を深めております。
- 令和5年度からは、海老名市の小学生が当市を訪れ、「SHIBATA 版スタディー・ツーリズム」を体験いただいているところですが、大変好評をいただいております、今年度も市内の小学生とともに教育旅行を実施します。3年目となる今年度で、海老名市の小学校全13校の代表児童が本事業に参加することとなります。
- あかたにの家で実施している当市の防災キャンププログラム体験をはじめ、普段見ることのできない、内の倉ダムの内部見学、長岡技術科学大学プロデュースによる科学の体験学習、スマート農業や収穫体験など、盛りだくさんです。なお、今年は海老名市の教育長さんも当市を訪れ、2日目と3日目に子どもたちの様子を視察する予定となっております。
- 海老名市の子どもたちは、9月7日に各学校で開催される「避難所開設運営訓練」で、防災キャンプでの経験などを地域の皆様に向けて発表を行う予定であると聞いております。
- 海老名市からは、子ども同士の交流に高い評価をいただいておりますが、当市としましても、子どもたちの交流を通して、海老名市の皆様に新発田を知ってもらい、さらには、参加した子どもたちが、将来、再び新発田を訪れてもらえるよう、「SHIBATA 版スタディー・ツーリズム」として、今後の関係人口創出にもつなげてまいりたいと考えております。

次に、ツキノワグマ出前授業の実施等についてです。

- 令和５年度にアーバンベアという言葉が生まれたことが示すように、当市においても、山間地だけでなく市街地にも出没し、クマが人の生活圏に迫りつつあり、人身被害発生危険性も高まっている状況にあります。
- このような状況を踏まえ、昨年度からクマ対策の強化を図っているところであり、その対策の一つとして、今年度も、子どもたちを守るために、小・中学校でツキノワグマ出前授業を実施いたします。
- クマと会わないため、人里に近づけないため、を重点に、動きを交えて、こどもたちに説明するものであり、今年度は、要望のあった９校で授業を行います。なお、７月７日（月）に東豊小学校で行う出前授業を、報道機関の皆様向けに公開いたしますので、是非とも取材してくださいますようお願いいたします。
- また、クマのみならず、イノシシにつきましても、近年は個体数が増加し、農作物被害が出ていることや、豚熱の感染源として畜産被害のおそれも出ているところであり、鳥獣被害防止につきましては、新たな対策も含め、より一層力を入れる必要があります。
- 新たな対策では、野生鳥獣による農作物被害対策の分野において、今年度、国の交付金である、鳥獣被害防止総合対策交付金のモデル事業「スマート捕獲等普及加速化事業」に県内で唯一採択されたものであり、県内で唯一の取り組みとなります。全国でも２０地区のみの採択という状況です。
- 本事業は、複数の ICT 機器等を活用した被害対策の実証を行うモデル地区を整備する事業であり、県内からは勿論、全国的に

も注目される事業であります。お盆前には機材の設置を予定しておりますので、その際には是非とも取材していただきますようお願いいたします。

○当市では、本事業を活用し、遠隔操作の自動捕獲檻やアプリなどを導入し、近年、農作物被害が増加傾向にあるイノシシに対して、対策の強化を図ってまいりたいと考えております。

○クマやイノシシなど、市民の皆様の生活を脅かす野生鳥獣に対しては、徹底的に対策を講じてまいります。

最後に、歴史図書館の夏季企画展「北を向く越後人」についてです。

○以前テレビ放送された「ファミリーヒストリー」という番組で、タレントの伊藤蘭さんの先祖が新発田出身と紹介され、のちに北海道へ移り住んだという話がありましたが、番組の中で歴史図書館所蔵の新発田城下町絵図が紹介されました。

○このように、ほかの都府県に比べ「私の先祖は新潟」と、北海道のかたから、歴史図書館への問い合わせがよくあります。そんな新潟と北海道の関係を掘り下げ、新発田藩主が集めた蝦夷地^{えぞち}に関連する資料や北海道で発見された五階菱の漆器、北方への移動手段として用いられた北前船の模型、新発田出身の実業家大倉喜八郎や、石川啄木を世に送り出したといわれる市内荒川地区出身の歌人、宮崎郁雨^{みやざきいくう}の北海道での活動など、新潟と北海道の関係を示す資料を集め、歴史上に足跡を残した「北を向く越後人」を紹介いたします。

○また、企画展に関連して 8 月 2 日（土）に上越教育大学名誉教授^{あさくら ゆうこ}の浅倉有子先生による講演会「漆器とアイヌ民族」や、職員によるギャラリートークを開催いたします。

○開催にあたり、新潟県が支援するトキエア株式会社様の協力により、新潟空港・札幌丘珠空港でのポスター掲示やチラシ設置を行いました。これにより新潟から北海道への旅行、北海道から新発田の蔵春閣・新発田城、歴史図書館への来訪、月岡温泉への宿泊につなげ、新潟と北海道の交流人口の促進に寄与できればと考えております。

本日お知らせする情報は以上になりますが、他にもお配りした資料のとおりにイベントなどを予定しております。

報道各社の皆様におかれましては、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田市をご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。